

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-86473(P2008-86473A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2006-269418(P2006-269418)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月14日(2009.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が周方向に所定間隔で付された複数の回胴と、

前記複数の回胴の各回胴を収納し、かつ、前記各回胴に付された複数の図柄のうち一部の図柄を視認可能とする表示窓を設けた本体と、

単位遊技に供される所定数の遊技媒体をベットするためのベット手段と、

所定数の遊技媒体をベットした状態で各回胴を回転させて単位遊技を開始させるべく操作される始動操作手段と、

前記始動操作手段の操作に基づいて役の抽選を行う抽選手段と、

前記各回胴ごとに設けられ、前記各回胴を個別に回転させる複数の駆動手段と、

前記各回胴の回転を個別に停止させて単位遊技を終了させるべく操作される複数の停止操作手段と、

前記始動操作手段の操作に基づいて各回胴の回転を開始させるよう前記複数の駆動手段の各々を制御し、かつ、前記複数の停止操作手段の各々の操作に基づいて前記抽選手段の抽選結果に対応する各回胴の所定の図柄が前記表示窓から視認できる有効位置に停止し得るよう前記複数の駆動手段のうちの当該停止操作手段に対応する回胴の駆動手段を停止制御する駆動制御手段と、

前記複数の回胴の全ての停止により前記有効位置に停止した図柄の組合せが前記抽選手段の抽選結果に対応する役を成立させる組合せである場合に当該役に対応する所定数の遊技媒体を還元する払出手段と、

前記複数の回胴の全ての停止により前記有効位置に停止した図柄の組合せが前記抽選手段の抽選結果に対応する所定のボーナス役を成立させる組合せである場合に遊技状態を通常遊技状態より遊技媒体の獲得し易いボーナス遊技状態に移行させるボーナス遊技移行手段と、

前記複数の回胴の全ての停止により前記有効位置に停止した図柄の組合せが前記抽選手段の抽選結果に対応する再遊技役を成立させる組合せである場合に遊技媒体を新たにベットすることなく次の単位遊技を行えるよう制御する再遊技処理手段と、

所定条件の成立に基づき、前記再遊技役の当選確率を変動させる再遊技確率変動手段と

を備えた遊技機において、

前記再遊技役として第 1 の再遊技役と第 2 の再遊技役とを含み、前記通常遊技状態において前記第 1 の再遊技役の当選確率が第 1 の通常確率でかつ前記第 2 の再遊技役の当選確率が前記第 1 の通常確率よりも低い第 2 の通常確率に設定されており、

前記再遊技確率変動手段が、

前記第 2 の再遊技役の成立に基づき、遊技状態を前記第 1 の再遊技役の当選確率が前記第 1 の通常確率よりも高い第 1 の高確率である R T 遊技状態に移行させる R T 移行手段と

、

前記 R T 準備移行役の成立に基づき、遊技状態を前記第 2 の再遊技役の当選確率が前記第 2 の通常確率よりも高くかつ前記第 1 の通常確率よりも低い第 2 の高確率である R T 準備状態に移行させる R T 準備移行手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記 R T 準備移行役として複数種類の役が設定されており、

前記 R T 準備移行手段が、前記複数種類の役のいずれかの成立に基づき、前記複数種類の役に対応する複数種類の R T 準備状態のうち当該成立役に応じた R T 準備状態に移行させ、

前記複数種類の R T 準備状態の各々において、所定回数の単位遊技が行われたこと及び転落移行役が成立したことの少なくとも一方に基づいて、遊技状態を前記通常遊技状態に移行させる通常遊技移行手段を備え、

前記複数種類の R T 準備状態は、単位遊技の継続し得る所定回数、前記転落移行役の当選確率及び前記第 2 の高確率の少なくとも 1 つが相違する少なくとも 2 種類の R T 準備状態を含んでいる請求項 1 に記載の遊技機。